



副業人材の活用事例

2020.12.15 in 九州財務局主催 かごしま活性化フォーラム

一般社団法人Work Design Lab 代表理事

石川 貴志

Takashi Ishikawa

Work Design Lab



Copyright Work Design Lab inc

Takashi Ishikawa

1978年生
広島出身
(42歳)

都内5人暮らし
妻(39)
長女(10)
長男(7)
次女(4)



一般社団法人 Work Design Lab 代表理事

Business

- 大手出版流通企業経営企画部担当マネージャー
- アケハナ(株) 事業開発アドバイザー
- エール(株) エバンジェリスト
- (株) SN@P新潟 メンター
- 農業法人オキス 社長室 新規事業担当 etc

Public/ Academic

- (独) 中小企業基盤整備機構 TIPS アンバサダー
- 長崎県 スタートアップ交流拠点 CO-DEJIMA アンバサダー
- (公財) ひろしま産業振興機構 創業サポーター
- ワークデザイン茨城(関東経済産業局事業) アドバイザー
- 雲仙市 観光協会 交流コーディネーター
- 順天堂大学 客員研究員(グローバルヘルスプロモーション) etc

Social

- (一社) ソーシャリスト21st 理事
- (一社) 雲のプログラミング教室 事業開発パートナー
- パパトレ勝どき 発起人 / 育フェスCHUO 実行委員 etc

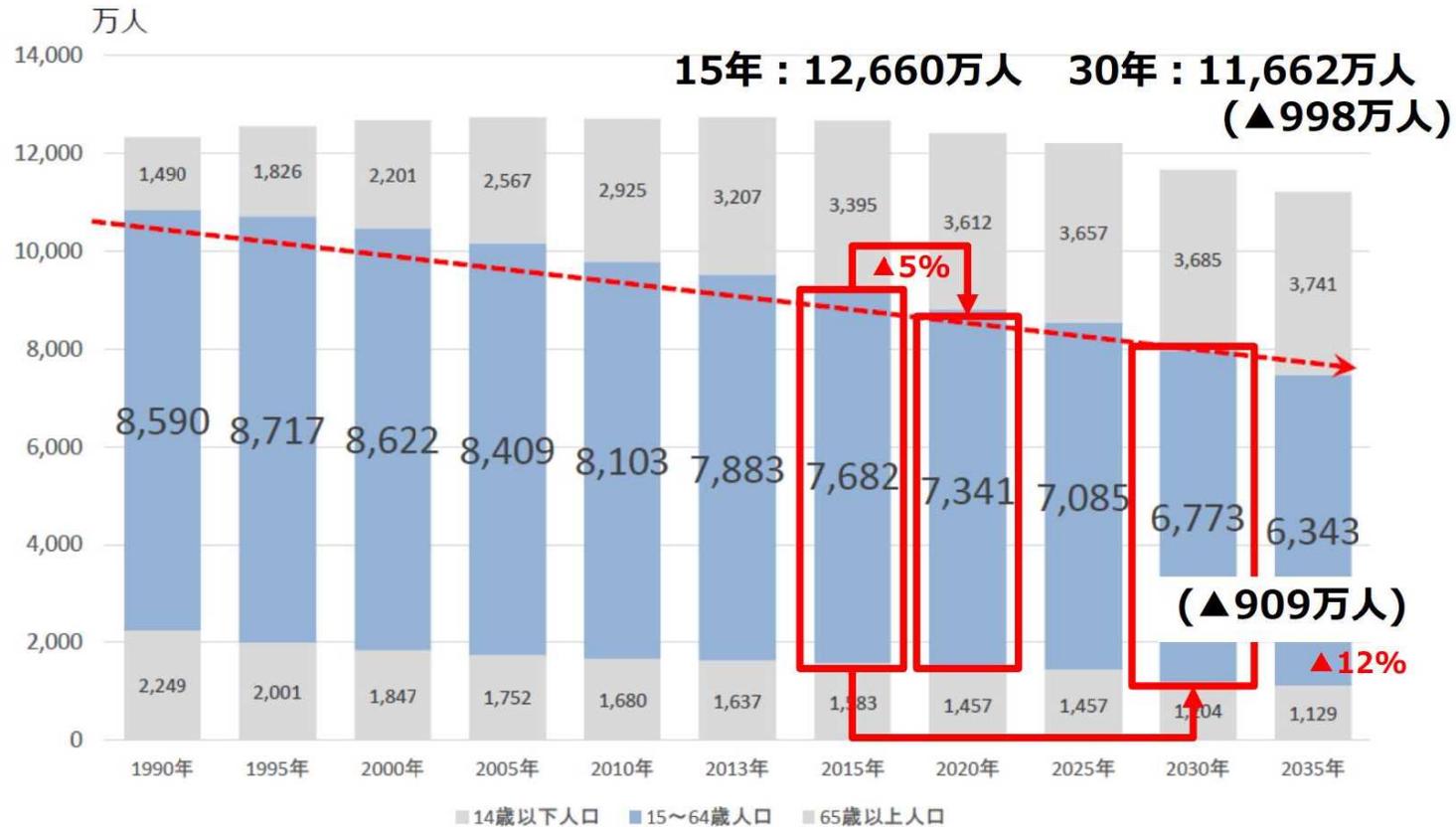


「社会」・「組織」・「個人」 変化の背景をよむ

社会

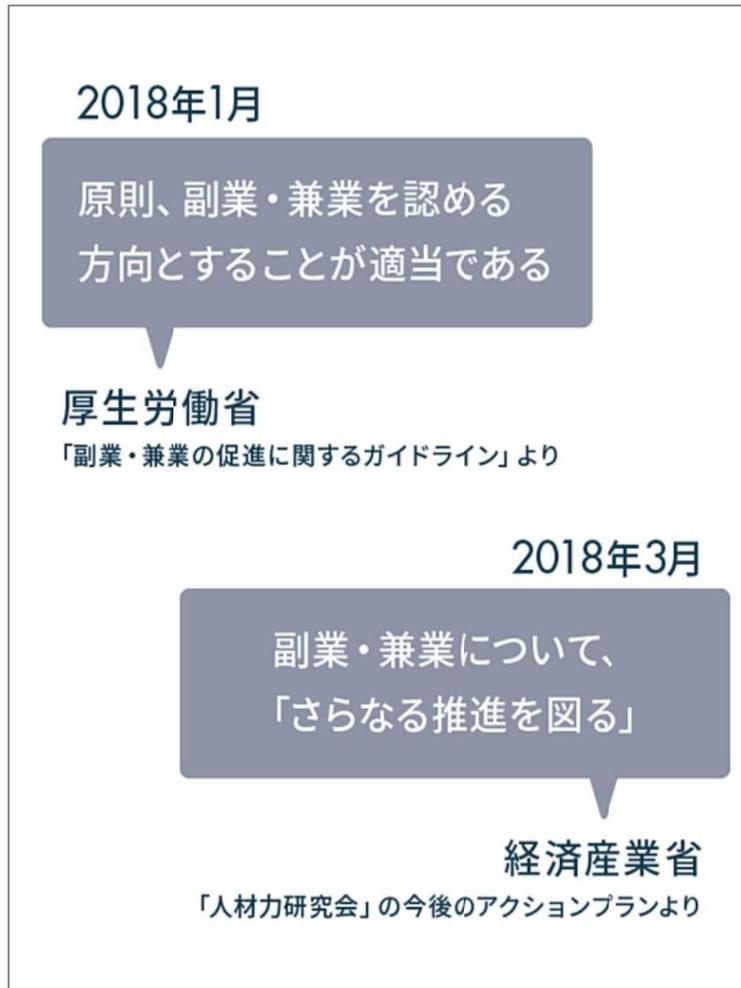
減少のほぼ全てが生産年齢人口

■ 生産年齢人口の推移

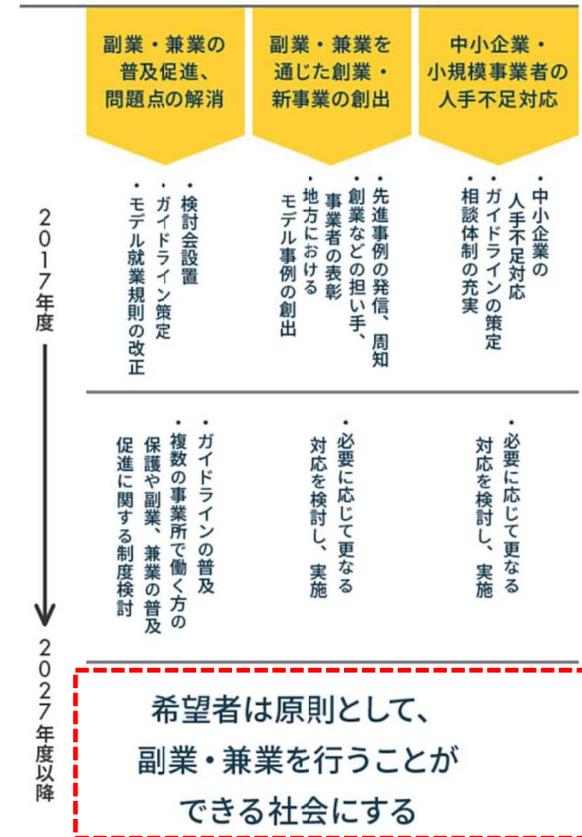


(出典) 2010年までは国勢調査、2013年は人口推計12月1日確定値。※2015年以降は推計値
2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

政府による兼業・副業の推進



政府が描く複業推進に向けた青写真



出所：首相官邸「働き方改革実行計画（2017年3月28日働き方改革実現会議決定）工程表」

出典：NewsPicks <https://newspicks.com/news/3004319/body/>

企業・組織

大手企業の副業解禁 (ロート製薬、新生銀行、ソフトバンク、SCSK、JTB・・・)

ロート製薬の「副業解禁」が示す本当の意味 無用におびえる社員が減り、会社も潤う

樋 裕葵 : 社会保険労務士 / CFP

2016年03月03日



自社従業員の働き方について新設した2つの制度を設けたロート製薬

出典: 日本経済新聞 <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO38786720R11C18A2000000/>
東洋経済オンライン <https://toyokeizai.net/articles/-/107508>

International

日本経済新聞

2019年3月6日(水)

トップ 経済・政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際・アジア スポーツ 社会

ストーリー 速報 朝刊・夕刊

有料会員限定 記事 今月の閲覧本数: 0 本 登録会員の方は月 10 本まで閲覧できます。

副業を全面解禁したSCSK、社員の興味は想定以上

働き方改革 ネット・IT コラム(テクノロジー) 科学&新技術

2018/12/26 6:30 | 日本経済新聞 電子版

保存 共有 ツイート f その他

「説明会の参加者枠があっという間に埋まった」。システム開発大手SCSKの井出和孝人事企画部人事企画課長は2019年1月1日から導入する副業・兼業制度に対する社員からの注目度の高さに驚きを隠さない。

■システム業界で異例の挑戦

同社は制度開始を18年11月12日に発表した。システム構築を請け負う国内大手IT(情報技術)企業で副業を届け出制で全面解禁するのは初めてだ。SCSKは18年11月29日から

企業向けの「副業・兼業」勉強会@東京



大企業に勤める若手中堅の7割以上が「複業」に目を向け始める

≡ BUSINESS INSIDER
JAPAN

CAREERS

「生涯1社はありません」複業を希望する大企業若手社員たち

滝川 麻衣子 [BUSINESS INSIDER JAPAN]

🕒 Jun. 20, 2017, 06:30 AM 📶 57,767

 FACEBOOK

 TWITTER

 LINKEDIN

 HATENA

 LINE

日本の大手企業に勤める若手の7割以上が「兼業・副業に興味がある」――。

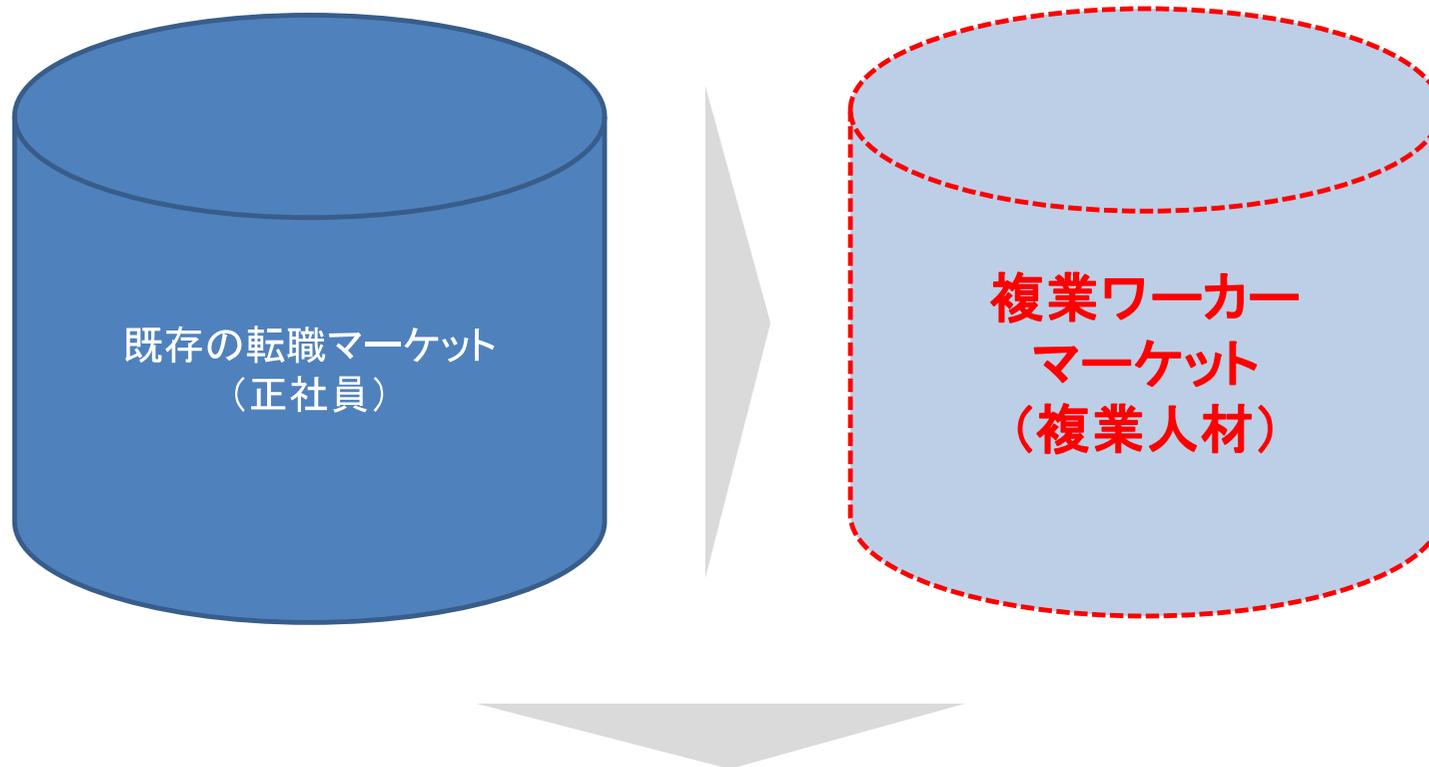
大手企業45社の若手有志による団体が、若手中堅社員1600人に聞いたアンケートで、こんな結果が出た。

現役の社員ら高度な知識をもつプロフェッショナルと、その知見を求める人を1時間からマッチングする副業がもっばらのスポットコンサルティングサービスも、登録者が3万6千人に達し、この1年で倍増した。かつてはお小遣い稼ぎや副収入といった目的が専らだった副業の概念に、大きな変化が起きつつあ

出典：<https://www.businessinsider.jp/post-34426>

Copyright Work Design Lab inc.

新しい人材マーケットの出現



活用できる人材の多様化

Copyright Work Design Lab inc.

個人

「企業の寿命」と「個人の職業寿命」の逆転



「働く」を変える不可逆的社会構造の3つの変化

では、何が大きく変わっているのか。これからもう後戻りはない不可逆的な社会構造の変化が大きく三つあります。中でも私が一番大きな変化として注目しているのは、企業の寿命と個人の職業寿命が逆転することです。

1960年代には大企業の寿命は60年だと言われていましたが、変化が加速する時代の中で今や企業の寿命は平均で20年を切っていくとも言われます。一方で100年人生と言われるように、個人の寿命は伸びており、20代で社会に出て80歳まで働くとなると、60年くらい働く時代が訪れているのです。仮に70歳でリタイアするとしても50年ほど働くわけですから、企業の寿命に比べ個人の職業寿命は2倍以上の長さであるわけです。

こうなると企業に勤めるのであれば、一生のうち3回か4回企業を渡り歩くのが当たり前の世界になってきます。以前のように一つの企業に一生勤め上げる終身雇用を前提とした社会ではなくなってきているのです。

二つ目の社会構造の変化は、社会全体がサービス経済化しているということです。これまで日本社会はものづくりによって発展してきましたが、今は第三次産業と呼ばれるサービス産業がGDPの7割以上を占めるようになってきました。社会がサービス経済化すると目に見えないものがどんどん価値を持ちはじめ、ものづくりからことづくりへ価値の中心が移り変わっていきます。

例えば居酒屋に入ってビールを頼んだ時、注文してから20分以上待ってビールが来たのでは、どんなに美味しいビールでも価値は半減します。これは人々がモノではなくサービスに価値を置いていることを意味します。これからはこうした目に見えないサービスがますます評価される時代になりますから、仕事もその価値の評価もそれだけ複雑になっていきます。

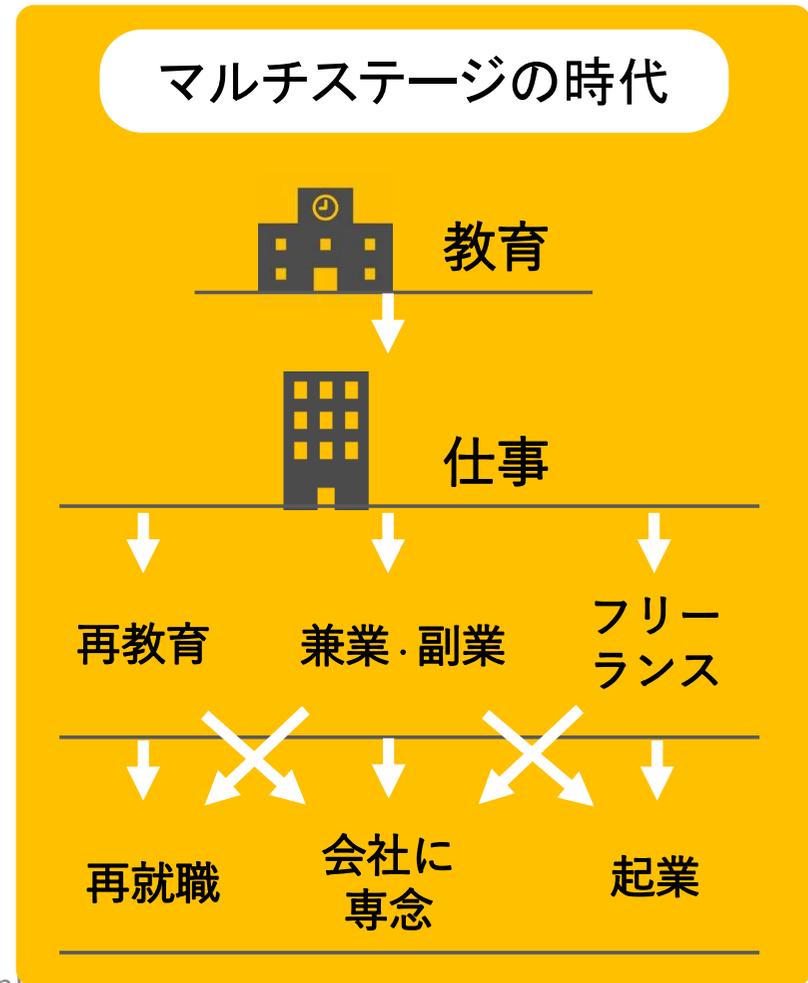
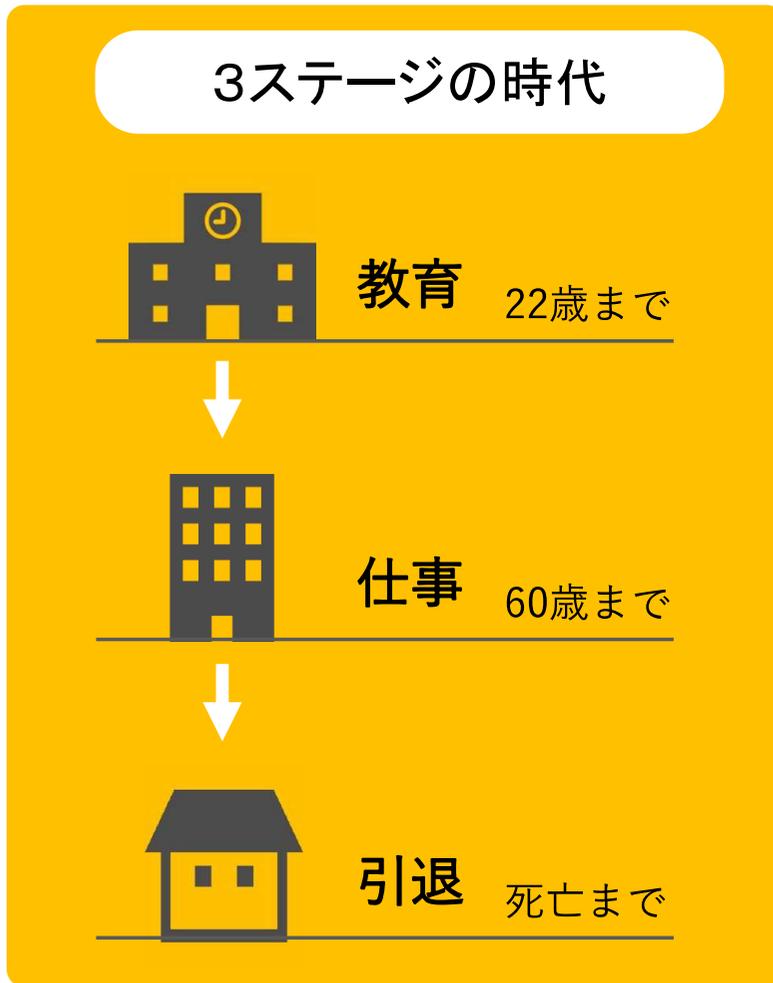
そして最後の大きな変化はテクノロジーの進化です。蒸気エンジンによって起こった第一次産業革命、電気の発明によって生まれた第二次産業革命、そしてコンピューターの発明によって起こった第三次産業革命を経て、今、私たちは人工知能やロボティクスといったテクノロジーと人間の力が融合して共進化する第四次産業革命の始まりの時代に生きています。当然、人と仕事の関係も大きく変わり始めています。それは自動車やインターネットがもたらした過去の産業革命をはるかに凌ぐ規模で、社会構造の転換を迫ります。

主権が企業から個人へ移り、働き方も大変革が起こる

こうした変化の時代は、予測できない様々なチャンスが生まれる時代でもあります。企業と個人の関係も大きく変わるでしょう。人と企業の関係で最も変わるの、「働き方の主権が個人に移る」ということです。例えばこれまで社会で当たり前のように使っていた「雇用」という言葉は、雇って用いるという企業が主体の言葉です。「従業員」という言葉も、生業に従う者という言葉ですから、従属的な意味を含んでいます。

しかし企業と個人の寿命が逆転し、目に見えない意味や価値を見いだせる人が重要になってくる新しい時代では、人と企業は対等

人生100年時代／マルチステージの時代へ (学び直しの必要性)



個人の法人化



「複業」が人材流動化を支える 藤井薫氏 リクルートキャリア「リクナビNEXT」編集長

2016/7/7 3:30 [有料会員限定]



KAORU FUJII
藤井薫

編集者

1988年慶応大学工学部を卒業後、リクルート（現 株式会社リクルートホールディングス）に入社。B-ing、TECH B-ing、Digital B-ing（現リクナビNEXT）、Works、Tech総研の編集、商品企画を担当。TECH B-ing編集長、Tech総研編集長、アントレ編集長・ゼネラルマネジャーを歴任。2007年より、リクルートグループの組織固有の共有・創発を推進するコンピタンスマネジメント部及グループ広報室に携わる。主な開発講座に『ソーシャル時代の脱コンテンツ・プロデュース』『情報氾濫時代の意思決定の行動心理学』などがある。

「複業（パラレルワーク）」という働き方が広がりがつつある。単に本業の収入を補うために時間を切り売りする「副業」とは異なり、複数の本業を持つ新しい働き方だ。

ロート製菓は週末や終業後に他社やNPCで働いて収入を得ることを社員に認めると2月に発表して話題になった。会社員が仕事のスキルを生かしてボランティア活動をする「プロボノ」も、リーマン・ショックや東日本大震災の後に広まった。

これらは社外で得た知見を本業に結びつけることも意識した新しいキャリアのあり方だ。なぜこうした動きが広がってきたのか。リクルートワークス研究所で個人や企業を数多く取材してきた経験から考察すると、これを読み解くキーワードは二つある。

まず「個人の法人化」である。これは個人がまるで法人のように振る舞うことだ。モバイル機器などの革新で個人の活動領域が広がり、外部との良好な人間関係である「関係資本」や、共感を得た人たちとつながる「共感資本」を一般的な企業をはるかに超えた水準で獲得し、活躍する人が生まれている。

出典：<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO04515520W6A700CLSH-E000/>

活動紹介

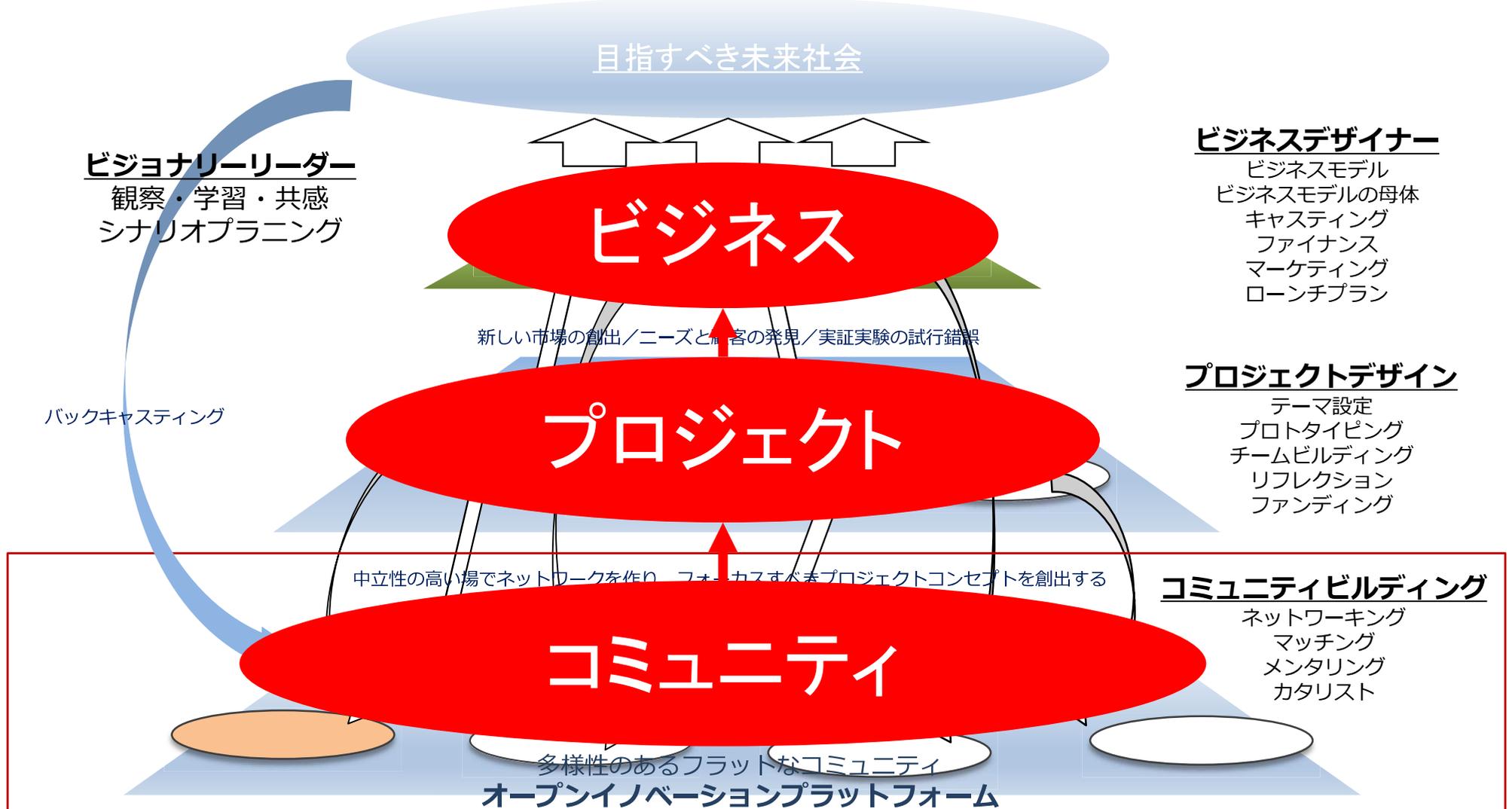


Copyright Work Design Lab inc

Visior

イキイキと働く大人で
溢れる社会、
そんな大人をみて
子どもが未来に夢を描ける
社会を創りたい。

プロジェクト創出と成長の基盤



Copyright Work Design Lab inc.



「働き方と組織の未来」をテーマにした対話の場



サラリーマン・イノベーター・ネットワーク (企業横断の新規事業担当者コミュニティ)



Copyright WorkDesign Lab Inc.

横浜市 × Work Design Lab

サラリーマン・イノベーターの集い(2017-2019)

記者発表

個人と組織の関係を考える交流イベント「サラリーマン・イノベーターの集い in 横浜vol.1」を開催！



記者発表資料
平成29年12月27日
経済情報推進課長
高木 秀昭 TEL:671-3984

個人と組織の関係を考える交流イベント 「サラリーマン・イノベーターの集い in 横浜vol.1」を開催！

横浜市は、企業・団体に所属しながら新規事業の立ち上げなど社内外で活躍する方々（サラリーマン・イノベーター）が集まり、横浜らしい働き方を語り合う交流型イベントを実施します。

- 社会の変化が加速する中で、企業・団体が他の組織と協力して、新規事業の開発などに取り組むこと（オープン・イノベーション）が注目されています。
- 横浜市経済局では、こうした新ビジネスの創出などにチャレンジする企業社員等が、社外との交流などを通して成長できる、魅力的なビジネスエリアの構築に取り組んでいます。
- 今回は「越境する個人と組織の再結合を考える」をテーマに、横浜にゆかりのあるサラリーマン・イノベーターの方から活動をうかがい、横浜らしい創造的な働き方を探ります。
- 組織を超えた交流や活動に興味のある方、すでに実践されている方は、奮ってご参加ください。



平成29年3月28日、サラリーマン・イノベーターの集い in 横浜vol.0の様子



1 イベント概要

【日時】 2018年1月16日(火) 19:00~20:45

Copyright Work Design Lab inc.

茨城県 × Work Design Lab

“複業”による移住・二地域居住の推進プロジェクト(2018-2019)



茨城県
Ibaraki Prefectural Government

トップ

- 茨城を創る
- 茨城で暮らす
- 茨城を楽しむ
- 茨城で学ぶ
- 茨城を知る

いばらきに住んでみませんか？(移住・二地域居住)

- 県内の地域おこし協力隊の状況について
- 東京圏に立地する企業の“地方への移住”に関するニーズ調査結果について
- 茨城県でトライアル移住・二地域居住に取り組む

ホーム > 茨城で暮らす > 移住・二地域居住 > いばらきに住んでみませんか？(移住・二地域居住) > “複業”による移住・二地域居住の推進を始めます

報道発表資料 シェア 271 ツイート 更新日:2018年9月6日

“複業”による移住・二地域居住の推進を始めます

茨城県では、東京圏から本県への新しいひとの流れをつくるため、東京圏に立地する企業とタイアップして「従業員の試験的な移住・二地域居住のサポート」、「県内の企業・個人事業主とのビジネスマッチング」、「新たな移住・二地域居住モデルの構築を推進しています。

この取組みの一環として、今年度、タイアップ企業に選定した一般社団法人Work Design Lab（東京都中央区）とコラボし、“複業”による移住・二地域居住の推進を開始することいたしました。具体的には、東京圏を中心として増加傾向にある“複業人材（※1）”と、経営や人材不足に課題を抱えている県内企業の経営者等を繋ぎ合わせることで、将来的な移住・二地域居住の可能性を持つ関係人口（※2）を創出し、双方がwin-winの関係で地方創生を推進していきます。

第一弾として、下記イベントを開催することといたしましたのでお知らせいたします。

※1：業種が異なる複数の仕事を、いずれも本業として兼務するような働き方をする人をいう。近年、多様な柔軟な働き方が注目されるなか、企業が従来禁じていた従業員の“複業・副業”を容認する動きが広がっている。

※2：長期的な“定住人口”と短期的な“交流人口”の中間的な概念として、地元や地方に貢献したいという思いを持ちながら、継続的に地方や地方の人々と多様に関わる人をいう。

イベント概要

▼趣 旨：“茨城と東京を繋ぎ、新しいチームを創る”ことを目的として、県内の地域・企業の魅力を再発見し、東京圏の複業人材と一緒に、これからの働き方や組織のあり方について考える場とします。



副業人材の活用事例 (地方企業)

地方企業 × Work Design Lab

(情報化、財務戦略、マーケティング、商品開発、組織開発 等を支援)

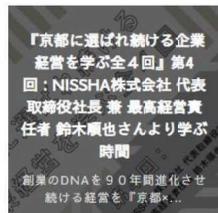


事例①(株式会社ウエダ本社様)



セミナー・イベント情報

一覧をみる



▼企業概要

社名 : 株式会社ウエダ本社

創業 : 1938年5月

所在地 : 京都府京都市下京区

従業員 : 30名

事業内容: リノベーション事業 / 空間プロデュース事業 / コーポレートデザイン事業

▼プロジェクト概要

テーマ : 業務改善・ITツール導入支援 / 新商品開発支援

期間 : 2017年11月~2019年4月

▼体制

ウエダ本社: 4名(リーダー: 社長) / Work Design Lab: 3名



WEBミーティングの様子



プロジェクト報告会の様子(六本木)

事例②(医療法人社団敬崇会 猪原歯科 様)

医療法人社団 敬崇会
猪原歯科 INOHARA Dental & Rehabilitation

完全予約制 フリーダイヤル
0120-23-0957
メールでのお問い合わせ サイトマップ

HOME 当院について ご来院にあたって 私たちの取組み 採用情報

予防 (歯周病・むし歯) 義歯 インプラント等 摂食嚥下 リハビリテーション 予防 (歯周病・むし歯)

お知らせ > お知らせ一覧

2020年01月20日 歯科医師 猪原光が、九州歯科大学で講義を行ってきました。

2020年01月10日 副院長の猪原健が、書籍「今日の治療指針」の一部を執筆しました。

2020年01月10日 ほかほかクラブでクリスマス会を開催しました。

2019年12月27日 第5回 管理栄養士健康教室 (冬を元気に過ごす食事)

2019年12月27日 第4回 管理栄養士健康教室 (簡単ヘルシーおせち)

診療時間のご案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00~12:30	○	○	○	○	○	/	/
右をご参照ください	14:30~18:30	14:30~17:30	/	14:30~18:30	14:30~17:30	/	/

▼企業概要

社名 : 医療法人社団敬崇会 猪原歯科

開業 : 1946年12月

所在地 : 広島県福山市

スタッフ : 40名

診療科目 : 歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、内科

▼プロジェクト概要

テーマ : スポットCFO(財務責任者) / 新事業開発支援

期間 : 2018年11月~現在

▼体制

猪原歯科 : 5名(リーダー:副院長) / Work Design Lab : 4名



WEBミーティングの様子



猪原歯科のチームの皆様

医療法人社団 敬崇会
猪原歯科・リハビリテーション科 副院長
猪原 健 氏

金錢的價值 と 非金錢的價值

倉増 京平 (クラマシ キョウヘイ)



年齢： 40歳

出身地： 大阪府

家族構成：

妻、長男（13歳）、次男（10歳）の4人家族

職業： **広告会社勤務** ベンチャー企業勤務

仕事にはそれなりのやりがいを感じつつも、それだけでは飽き足らず、培ってきたスキルや経験を「社会」に貢献したいと考え、数年前から**複業活動**を行っている。

子育て最中の現在は、地方への移住は考えていないが、**なんらかの形で地方との関わりを持ちたい**と考えている。多拠点生活の実現がささやかな夢の1つ。

- ✓ 肩書きを外した時の、自分の実力を知ることができる
- ✓ 「ただいまー」といって帰れる第二の故郷が持てる
(かもしれない)
- ✓ 「家族旅行」と「ちょっと複業仕事」を同時に実現
- ✓ 新しいビジネス（新規事業）の種が見つかる
(かもしれない)

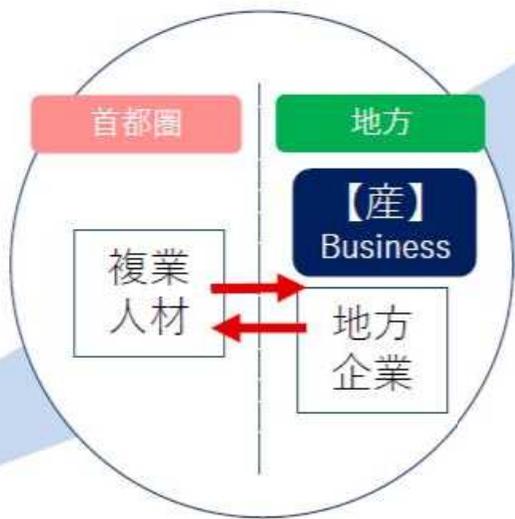
ローカル・コミュニティ・プラットフォーム (LCP)

「非金銭的価値」をデザインし、流通させるプラットフォーム

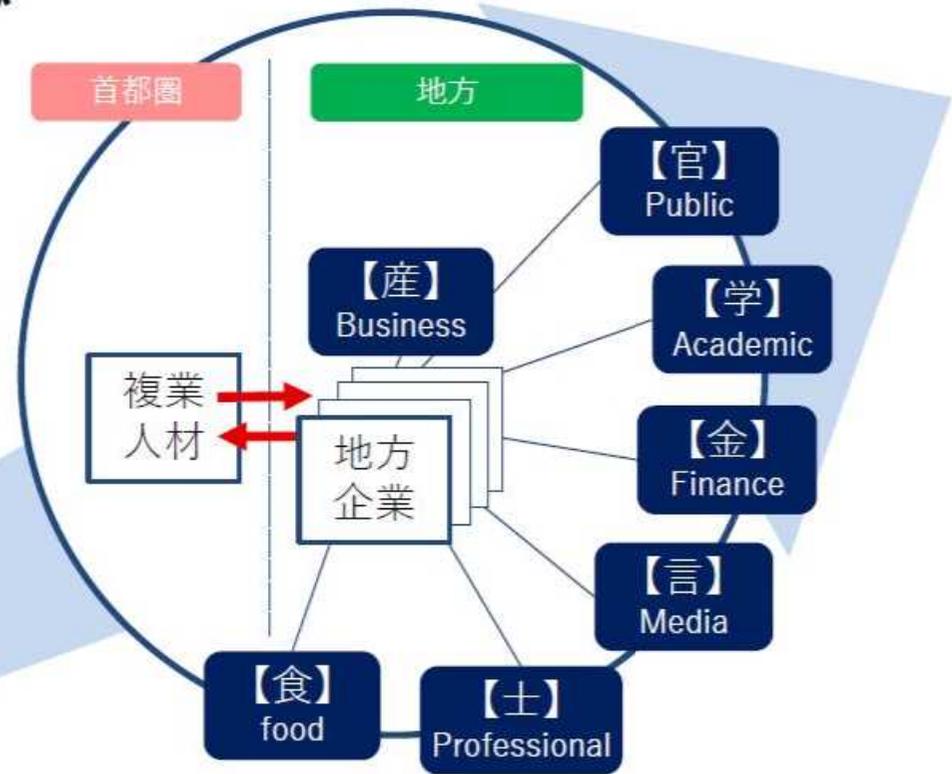
WDL ローカルコミュニティプラットフォーム(LCP)構想

Work Design Labの提供価値

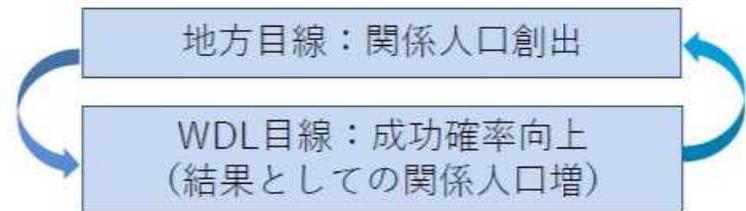
1. 個別の成功事例創出 (個別企業のマッチング)
2. 成功事例の研究・発信 (ラボ/メディア)



個別企業マッチング



ローカルコミュニティプラットフォーム (LCP)



2020/6/5に「ひなたイノベーションセンター」キックオフフォーラムを開催。
 地元の経営者・銀行・自治体が中心となり、産業活性化のための複業人材とも連携。



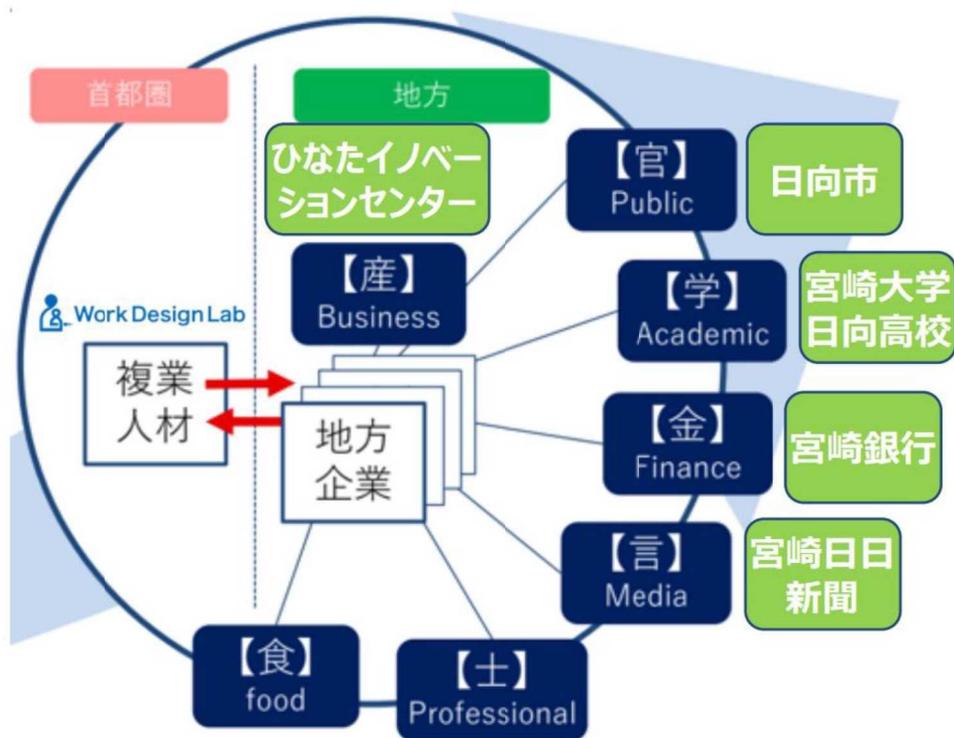
キックオフフォーラムの様子



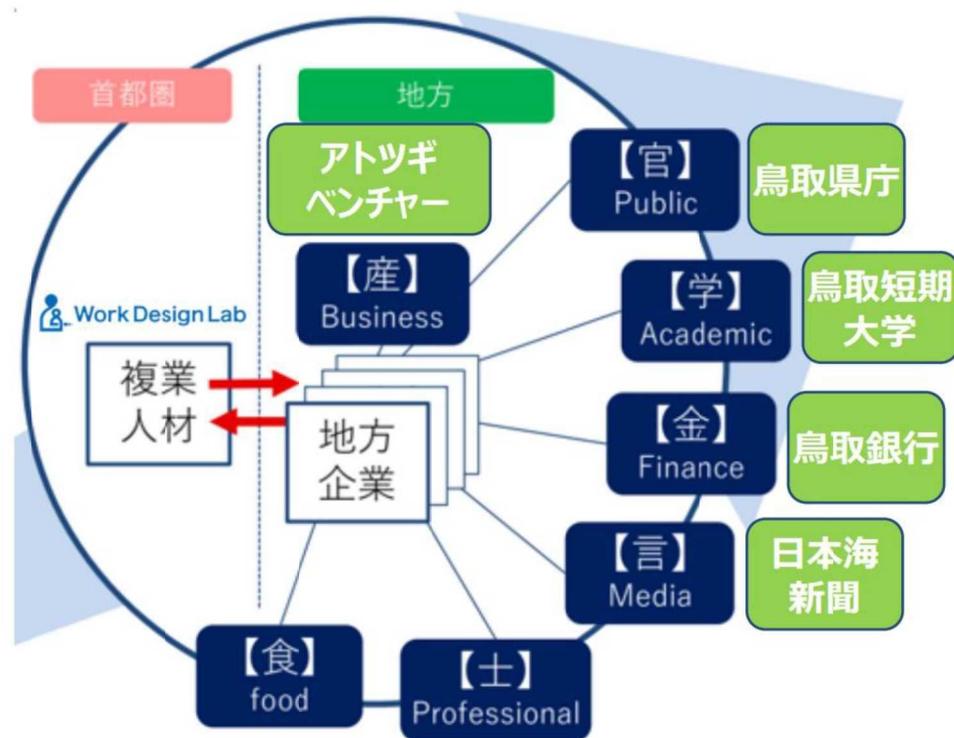
宮崎日日新聞 (2020.6.26)

参考) 宮崎県日向市 / 鳥取県倉吉市

宮崎県日向市



鳥取県倉吉市





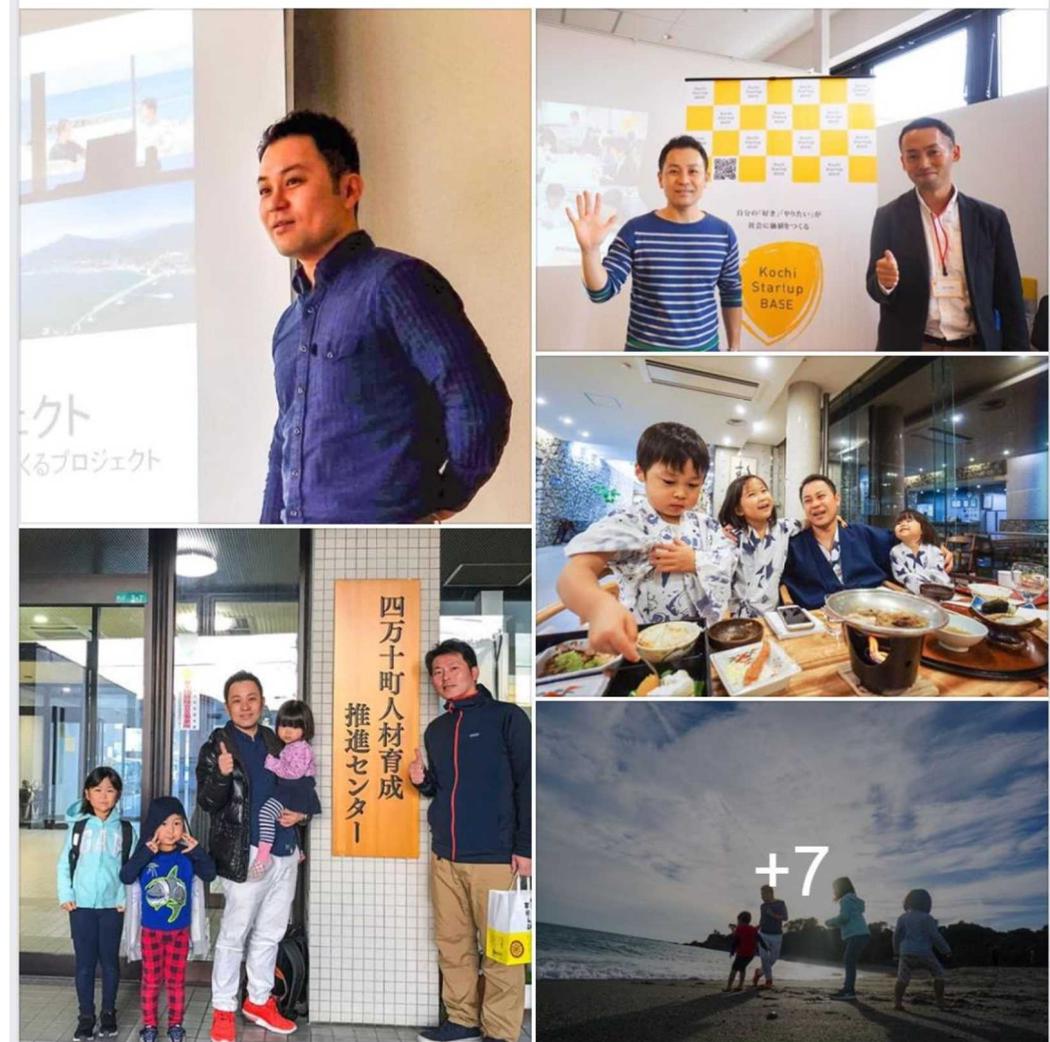
複業旅行プロジェクト

地方企業を手伝うと、家族旅行が返ってくるプロジェクト

新潟県



高知県



岩手県



広島県



地域全体で首都圏人材をシェアリングする

地方

首都圏

